

5月14日、授業参観とPTA総会を開催しました。熊本地震発生から1か月で、保護者の皆様には、公私ともに大変な状況のなか、来校いただく心苦しきもありましたが実施させていただきました。

総会でも話しましたが、これまでのところ、本校の児童生徒及び学校は被害がなく、通常の授業を進めることができしております。しかし、本校の海側に面している一部は急傾斜地で、土砂災害警戒区域になっていますので、教室等を変更して学習活動を行っています。

5月20日（金）には、年度当初から計画しておりました地震・津波避難訓練を実施します。災害時の対応については、これまでも危機管理マニュアルを整備し、各種訓練や研修を行っていますが、「子どもたちを守る」という意識を高く持ち、実態に合った備えにより、安全・安心な教育環境づくりに努めていきます。

PTA総会の中では、福祉避難所で障がいのある方々の対応をされている保護者の方が、障がいのために環境の変化に馴染むことが難しかったり、食事を受け取る行列に並ぶことが大変だったりする例をあげられ、周囲の人々の障がいに対する理解がもっと進んでほしいと話をされました。また、山田PTA会長の御挨拶では、地震に遭った今こそ、人と人とのつながりが大切であると言われました。

「共生社会の実現」は遠くにある目標だと思いがちですが、人と人がつながり、みんなで助け合い、支え合い、共に生きることだと思います。障がいのある人も無い人も、経験豊富な年配の方もこれから様々な経験をする子どもたちも、元気いっぱいの方も元気がなかなか出ない人も、災害に遭遇した今、多くの方が共に生きることの大切さを実感していることではないでしょうか。

5月末から本校では交流校や地域の方々との「交流及び共同学習」の活動が始まります。「居住地校交流」の打ち合わせも始めます。それぞれの「交流」を通して、お互いを知り、つながり、そして、つながりが続いていくことを願っています。

平成28年5月16日